



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東 大 名 福

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社

コード番号 9110 URL <http://www.nsuship.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小島 徹

問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー

(氏名) 宮崎 毅

TEL 03-6895-6260

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	66,688	13.0	499	△88.2	△1,217	—	△415	—
23年3月期第2四半期	58,993	29.4	4,235	72.9	3,388	76.0	2,274	54.1

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 △2,502百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 519百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	△1.80	—
23年3月期第2四半期	14.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	
24年3月期第2四半期	165,122		64,118		37.6
23年3月期	168,974		67,364		38.7

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 62,080百万円 23年3月期 65,336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は定款において第2四半期末および期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	138,000	—	1,800	—	0	—	800	—	3.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※連結業績予想の修正については、本日(平成23年10月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	230,764,400 株	23年3月期	230,764,400 株
24年3月期2Q	85,092 株	23年3月期	84,686 株
24年3月期2Q	230,679,492 株	23年3月期2Q	161,917,468 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。また、本日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日までの6ヶ月間)の外航海運市況は、ドライバルクにつきましては、新造船大量竣工に伴う供給圧力に加え、豪州・ブラジルでの悪天候や、鉄鋼原料価格の高騰による中国の自国産資源への切り替えなどを受けて荷動きが停滞したことから船腹需給は緩和し、大型船市況を中心に低迷しました。その後、8月末より大型船市況が復調に転じたものの、大勢に大きな影響を与えるには至りませんでした。原油タンカー市況につきましても、新造船の供給圧力は依然として強く、市況は低調に推移しました。このような状況の下、外航海運事業の業績は前年同期比で大幅な減益となりました。

内航海運事業につきましては、震災とそれに伴う電力不足や荒天の影響などにより、LNGや電力関連の石炭輸送を除くその他国内貨物の荷動きが伸び悩んだことから、業績は前年同期比で減益となりました。

燃料油価格は、中東・北アフリカ政情不安を背景とした原油価格高騰に伴い高水準で推移し、当第2四半期連結累計期間の平均購入価格(C重油)はトン当たり約662ドルと、前年同期比では約160ドル上昇しました。また対米ドル円相場は戦後最高の円高水準で膠着状態にあり、期中平均で80円33銭と前年同期比では9円50銭の円高となりました。

このような事業環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は平成22年10月の日鉄海運㈱との合併の効果もあり、666億88百万円(前年同期比13.0%増)となりましたが、損益においては減益となり、営業利益は4億99百万円(前年同期比88.2%減)、主として営業外費用に為替差損14億28百万円を計上したことにより経常損失が12億17百万円(前年同期は33億88百万円の経常利益)、四半期純損失は4億15百万円(前年同期は22億74百万円の純利益)となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は約8割強、内航海運事業の割合は2割弱となっています。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、38億52百万円減少の1,651億22百万円となりました。このうち流動資産は船舶投資や法人税及び配当金等の支払いにより現金及び預金が減少したことを主要因として、36億36百万円減少しました。固定資産は建設仮勘定が49億87百万円増加しましたが船舶の減価償却等により、全体では2億16百万円減少しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、6億6百万円減少の1,010億4百万円となりました。このうち流動負債は未払法人税等が13億8百万円減少しましたが、その他流動負債等の増加により31億44百万円増加しました。固定負債は長期借入金の返済による減少等により、37億50百万円減少しました。

純資産合計は配当金の支払いによる利益剰余金の減少や、その他の包括利益累計額のマイナス幅が増加したこと等により、32億46百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通期				
	期初予想	前回予想	今回予想	前回予想比	
				増減額	増減率
売上高	138,000	-	138,000	-	-
営業利益	3,900	-	1,800	-	-
経常利益	3,200	-	0	-	-
当期純利益	2,500	-	800	-	-

※期初予想(平成23年4月28日)、前回予想(平成23年9月22日)及び今回予想における第3・4四半期の対ドル円換算率及び燃料油価格(内地C重油)の前提は以下の通りです。

第3・4四半期前提	期初予想	前回予想	今回予想
対ドル円換算率	US\$=85円	-	US\$=77円
燃料油価格(内地C重油)	US\$600/MT	-	US\$700/MT

第3四半期以降につきましては、アジアを中心に緩やかな景気の回復局面が継続し、我が国においても景気持ち直しの傾向が続くものと見込まれる一方、欧州諸国での債務問題に端を発した世界経済の減速が強く懸念されます。外航海運市況についても、大型撤積船を中心に改善の動きが見られるものの、新造船竣工による船腹供給圧力は今後も続く見込みであり、また燃料油価格の高止まり、円高基調の長期化といった損益悪化要因も強く懸念されるなど、先行きは不透明です。

このような事業環境を踏まえ、本年9月22日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」にて「未定」としておりましたが平成24年3月期通期連結業績予想を上述の通り修正いたします。なお第3・4四半期の前提条件は対ドル円換算率を1ドル=77円、燃料油価格は内地C重油価格トン当たり700ドルとしております。

また期末配当予想額につきましては、事業環境の先行きが不透明であることから、前回お知らせした通り未定のままいたします。

本日、別途「業績予想の修正に関するお知らせ」開示しておりますので併せてご覧下さい。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,374	9,077
受取手形及び営業未収金	14,993	12,795
たな卸資産	5,485	5,626
前払費用	2,277	2,744
繰延税金資産	4,043	5,865
その他流動資産	3,137	3,566
貸倒引当金	△28	△28
流動資産合計	43,281	39,645
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	88,729	84,171
建物（純額）	680	660
土地	865	856
建設仮勘定	27,012	31,999
その他有形固定資産（純額）	607	546
有形固定資産合計	117,893	118,232
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	4,941	4,206
繰延税金資産	1,092	1,470
その他長期資産	1,381	1,286
投資その他の資産合計	7,414	6,962
固定資産合計	125,693	125,477
資産合計	168,974	165,122

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	8,167	6,974
短期借入金	8,872	11,923
未払費用	218	246
未払法人税等	1,528	220
繰延税金負債	76	36
前受金	1,446	1,412
賞与引当金	414	391
役員賞与引当金	71	9
その他流動負債	12,675	15,400
流動負債合計	33,467	36,611
固定負債		
長期借入金	61,993	58,829
退職給付引当金	1,201	1,278
特別修繕引当金	1,768	1,779
繰延税金負債	2,680	2,334
その他固定負債	501	173
固定負債合計	68,143	64,393
負債合計	101,610	101,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	13,430	13,430
利益剰余金	46,054	44,947
自己株式	△26	△26
株主資本合計	69,758	68,651
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△234	△685
繰延ヘッジ損益	△3,466	△5,765
為替換算調整勘定	△722	△121
その他の包括利益累計額合計	△4,422	△6,571
少数株主持分	2,028	2,038
純資産合計	67,364	64,118
負債純資産合計	168,974	165,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	58,993	66,688
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	52,161	62,892
売上総利益	6,832	3,796
一般管理費	2,597	3,297
営業利益	4,235	499
営業外収益		
受取利息	81	131
受取配当金	81	69
持分法による投資利益	45	27
その他営業外収益	107	70
営業外収益合計	314	297
営業外費用		
支払利息	608	561
為替差損	526	1,428
その他営業外費用	27	24
営業外費用合計	1,161	2,013
経常利益又は経常損失(△)	3,388	△1,217
特別利益		
固定資産売却益	—	77
貸借契約解約精算金	—	116
特別利益合計	—	193
特別損失		
為替換算調整勘定取崩額	77	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	—
事務所移転費用	228	—
投資有価証券評価損	19	—
特別損失合計	367	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,021	△1,024
法人税等	690	△693
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,331	△331
少数株主利益	57	84
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,274	△415

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	2,331	△331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△484	△473
繰延ヘッジ損益	△1,629	△2,299
為替換算調整勘定	333	602
持分法適用会社に対する持分相当額	△32	△1
その他の包括利益合計	△1,812	△2,171
四半期包括利益	519	△2,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	451	△2,564
少数株主に係る四半期包括利益	68	62

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,021	△1,024
減価償却費	3,888	4,955
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5	△23
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△59	△62
前払年金費用及び退職給付引当金の増減額	8	72
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	169	13
受取利息及び受取配当金	△162	△200
支払利息	608	561
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	—	△77
投資有価証券評価損益(△は益)	19	—
持分法による投資損益(△は益)	△45	△27
移転費用	228	—
賃貸借契約解約精算金	—	△116
営業債権の増減額(△は増加)	△623	2,172
たな卸資産の増減額(△は増加)	△129	△141
営業債務の増減額(△は減少)	△239	△1,146
その他	△478	△920
小計	6,201	4,037
利息及び配当金の受取額	162	200
利息の支払額	△574	△604
移転費用の支払額	△83	—
法人税等の支払額	△550	△1,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,156	2,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	—	190
船舶の取得による支出	△13,087	△5,454
船舶の売却による収入	415	—
その他の固定資産取得による支出	△267	△35
その他の固定資産売却による収入	—	91
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	△1,000	1
その他	△29	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,970	△5,220
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,591	350
長期借入れによる収入	14,273	3,730
長期借入金の返済による支出	△4,974	△4,232
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△325	△702
少数株主への配当金の支払額	△42	△52
その他	△6	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,334	△921
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	△98
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,430	△4,107
現金及び現金同等物の期首残高	11,068	13,044
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,638	8,937

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	48,425	10,155	58,580	413	58,993	—	58,993
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	58	—	58	294	352	△352	—
計	48,483	10,155	58,638	707	59,345	△352	58,993
セグメント利益	3,628	552	4,180	43	4,223	12	4,235

(注) 1. 「その他」の区分には、総務・経理業務受託業及び情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額12百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	55,744	10,525	66,269	419	66,688	—	66,688
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	3	3	231	234	△234	—
計	55,744	10,528	66,272	650	66,922	△234	66,688
セグメント利益	95	372	467	24	491	8	499

(注) 1. 「その他」の区分には、総務・経理業務受託業及び情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。